

# 令和元年度下半期下水道事業 業務状況説明書

## 1 事業の概況

良好な下水道サービスを提供するため、昨年度に引き続き、下水道未普及地域の解消、老朽化した下水道管やポンプ場設備の更新、浸水対策の推進に取り組みました。

管渠建設事業では、2,482,009,740 円を投じ、下水道未普及地域に下水道管を新たに 11,303m 布設しました。また、災害時に指定避難所となる小学校等を対象に、災害用マンホールトイレを設置する工事を 4 箇所実施しました。さらに、令和元年度から令和3年度の3カ年継続事業である東川口駅周辺浸水対策事業を始めとする浸水対策工事を実施しました。

管渠改良事業では、812,755,010 円を投じ、老朽化した下水道管の更新工事等を実施し、下水道管 1,162m を布設しました。また、更生工事により下水道管 1,454m の延命措置を講じました。

ポンプ場建設改良事業では、438,007,800 円を投じ、元郷排水ポンプ場耐震補強工事のほか、令和元年度東日本台風で被災した領家第八公園ポンプ場を復旧するための設計や二軒在家排水ポンプ場受変電設備更新工事等を実施しました。

## 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

### （1）収益的収支の状況

収益的収入における下水道使用料の決算額は 6,379,994,950 円で、予算現額 6,461,080,000 円に対し執行率 98.7%、他会計負担金は 1,834,899,953 円で、予算現額 1,907,328,000 円に対し執行率 96.2%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、国庫補助金等を加えた収入総額は 11,405,620,616 円で、予算現額 11,521,279,000 円に対し執行率 99.0%となりました。

一方、収益的支出の決算額は 10,283,252,064 円で、予算現額 10,849,307,000 円に対し 94.8%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用 8,679,450,540 円、企業債の支払利息 868,245,743 円、特別損失 735,420,034 円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は 1,122,368,552 円となりました。

### （2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債 2,946,900,000 円、他会計出資金 1,744,523,000 円で、このほか、他会計補助金、国庫補助金等を加えた決算額は 5,393,865,200 円となり、予算現額 5,972,152,000 円に対し 90.3%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は 7,741,446,955 円で、予算現額 8,550,148,000 円に対し 90.5%の執行率となりました。内訳は、建設改良費 4,196,010,720 円、企業債償還金 3,545,436,235 円となっています。

## 3 排水状況

本年度末日の水洗化人口は 504,610 人で、前年度に比べ 5,245 人 (1.1%) 増、水洗化世帯数は 245,056 世帯で、前年度に比べ 5,122 世帯 (2.1%) の増となっています。

年間総排水量は 56,167,682 m<sup>3</sup> で、前年度に比べて 2,256,348 m<sup>3</sup> (3.9%) の減となり、有収水量は 51,641,936 m<sup>3</sup>、有収率は 91.94%となっています。

# 収益的収入及び支出

## 1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
下水道使用料	6,461,080,000	6,379,994,950	△ 81,085,050	98.7
他会計負担金	1,907,328,000	1,834,899,953	△ 72,428,047	96.2
その他営業収益	2,283,000	2,602,300	319,300	114.0
他会計補助金	179,322,000	178,322,000	△ 1,000,000	99.4
国庫補助金	29,326,000	29,335,000	9,000	100.0
長期前受金戻入	2,940,687,000	2,964,506,063	23,819,063	100.8
消費税及び地方消費税還付金	0	13,799,206	13,799,206	—
雑収益	1,252,000	605,510	△ 646,490	48.4
過年度損益修正益	1,000	137,491	136,491	13749.1
その他特別利益	0	1,418,143	1,418,143	—
計	11,521,279,000	11,405,620,616	△ 115,658,384	99.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

## 2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
管渠費	522,650,000	491,471,620	31,178,380	94.0
ポンプ場費	728,412,093	687,571,688	40,840,405	94.4
普及促進費	163,230,000	118,583,988	44,646,012	72.6
業務費	353,833,000	349,751,218	4,081,782	98.8
総係費	217,722,907	192,548,861	25,174,046	88.4
流域下水道維持管理費負担金	2,293,769,000	2,064,200,678	229,568,322	90.0
減価償却費	4,736,926,000	4,745,891,446	△ 8,965,446	100.2
資産減耗費	29,658,000	29,431,041	226,959	99.2
支払利息	918,742,000	868,245,743	50,496,257	94.5
消費税及び地方消費税	144,771,000	0	144,771,000	0.0
雑支出	145,000	135,747	9,253	93.6
固定資産売却損	0	259,577	△ 259,577	—
過年度損益修正損	8,273,000	10,938,116	△ 2,665,116	132.2
その他特別損失	730,175,000	724,222,341	5,952,659	99.2
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0
計	10,849,307,000	10,283,252,064	566,054,936	94.8

(消費税及び地方消費税込みで表示)

## 資本的収入及び支出一覧

### 1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
企業債	3,350,500,000	2,946,900,000	△ 403,600,000	88.0
他会計補助金	99,712,000	99,712,000	0	100.0
国庫補助金	777,400,000	602,514,000	△ 174,886,000	77.5
負担金	17,000	106,200	89,200	624.7
他会計出資金	1,744,523,000	1,744,523,000	0	100.0
固定資産売却代金	0	110,000	110,000	—
計	5,972,152,000	5,393,865,200	△ 578,286,800	90.3

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
建設改良費	5,004,711,000	4,196,010,720	808,700,280	83.8
企業債償還金	3,545,437,000	3,545,436,235	765	100.0
計	8,550,148,000	7,741,446,955	808,701,045	90.5

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 排水の状況

区 分	A 令和元年度	B 平成30年度	C 差 引 (A-B)	増減率 C/B (%)
水洗化人口 (人)	504,610	499,365	5,245	1.1
水洗化世帯数 (世帯)	245,056	239,934	5,122	2.1
総排水量 (m <sup>3</sup> )	56,167,682	58,424,030	△ 2,256,348	△ 3.9
1日平均排水量 (m <sup>3</sup> )	153,463	160,065	△ 6,602	△ 4.1

## 令和2年度下水道事業 予算概要

### 1 事業の概況

本市下水道事業は、「川口市下水道ビジョン」において、「安全で快適なくらしを未来へつなぐ 川口の下水道」を理念として掲げています。

この理念を実現するため、令和2年度当初予算において、下水道未普及地域の解消、老朽化した管渠等の更新、浸水対策の推進のために必要な経費を計上し、今後も良好な下水道サービスを持続的に提供できるよう努めていきます。

### 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

#### （1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は11,361,588千円で、前年度に比べ124,500千円（1.1%）の減を見込んでいます。減額の主な理由は、他会計負担金の対象経費が減少したためです。

収益的支出の合計額は10,356,995千円で、前年度に比べ364,523千円（3.4%）の減となっています。減額の主な理由は、前年度に限り計上した地方公営企業法適用以前の退職給付費が皆減となったためです。

#### （2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は6,563,626千円で、内訳は、企業債4,215,000千円、他会計出資金1,077,696千円、他会計補助金127,528千円、国庫補助金1,143,376千円、負担金17千円、固定資産売却代金9千円となっています。

資本的支出の合計額は9,552,005千円で、内訳は、建設改良費5,957,806千円、企業債償還金3,594,199千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2,988,379千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額403,987千円、減債積立金490,000千円、過年度分損益勘定留保資金702,864千円、当年度分損益勘定留保資金1,391,528千円で補てんします。

### 3 汚水処理状況

令和2年度の総排水量は62,509,000 m<sup>3</sup>、有収水量は51,630,000 m<sup>3</sup>、予定有収率は82.60%を見込んでいます。